



80mL 200mL 900mL (詰め替え用)

皮膚用保護クリーム

肌ガード

[Skin guard cream]

日本製

肌ガードとは
超微粒子の保護膜を皮膚の角質に形成。
外部からの汚れ、臭いの粒子をブロックし、汚れ・臭いを
落とすやすくするブロッククリームです。

肌 お
を 仕
守 事
る の
前 に



■特長

①3つの保護膜を形成

肌ガードは**保護膜成分を3種類配合**し、外部からの汚れ・臭いをブロックします。

大半の手荒れ原因は、外部からの刺激と人間が本来持っている皮膚を守る水分や脂分の保湿成分の流失が原因で発生します。肌ガードは作業前に皮膚に塗ることで、まず3つの保護膜成分(2種類の保護膜成分・撥水成分)でコーティングし、外部からの汚れや臭いなどの刺激から肌を守り、さらに水分・脂分の流失を防ぎ、保湿成分も補う事で手荒れ要因に先手を打ちます。

第1の保護膜…アミノ変性シリコンが手肌に吸着して、シリコンコーティング

第2の保護膜…次に、撥水性の良いフッ素化合物を吸着させてフッ素コーティング

第3の保護膜…最後に、さらにビニールの手袋をはめるようなイメージのポリビニルピロリドン (PVP) コーティング

②爽やかな使用感

- ・ニオイが無く、のびの良いジェル状クリームで快適に使用できます。
- ・ベタつきが少なく、作業性を妨げない適度なしっとり感があります。
- ・天然保湿成分 (NMF) の一つである PCA 誘導体を配合。
- ・手以外で皮膚の保護を必要とする部位 (顔、足など) にもご使用いただけます。

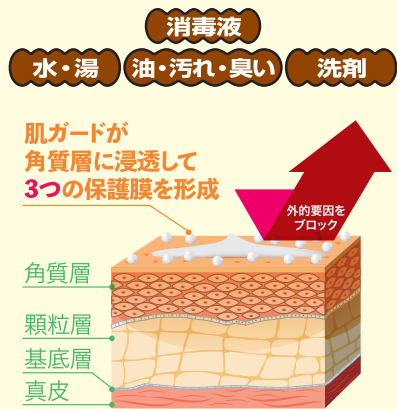
③高いコストパフォーマンス

- ・1回の使用量は**0.6mL**(アーモンドの半分位の量)。肌ガード 80ml の場合、約 133 回分ご使用頂けます。またご使用中の石鹸や洗剤やシンナーの使用量も減り、コストメリットが見込めます。200ml の場合、約 333 回分。



写真は肌ガードを塗った手と塗らない手にそれぞれ油性マジックを塗り、こすり洗いをした状態です。
※汚れの種類や肌の状態により、異なる場合がございます。

皮膚の断面図のイメージ図



■安全性・機能性試験も実施

【安全性試験】

- ・24時間クローズドパッチテストによるヒト皮膚1次刺激性試験 (フェース・サーベイ美容皮膚医科学センター)
- ・急性経口毒性試験 (財団法人 日本食品分析センター)

【機能性試験】

- ・微生物5種類に対する保護膜不透過試験 (社団法人 京都微生物研究所)
- ・摩擦特性評価試験 (東北大学大学院)
- ・水分保持機能及びバリア機能に関する評価試験 (新潟薬科大学薬学部)

■さまざまなシーンで活躍！

肌ガードは、さまざまなシーンで肌の汚れ・臭いや手荒れ、擦りむけなどのスキンケアトラブルから手肌を守ります。



水仕事に



オフィスワークに



家庭での作業に



車の作業で



建設・土木の現場で



工業の現場で

■使用方法 【必ず作業前に塗ってください】

顔にも塗れます！

手に塗る場合

目安は1日2回使用。弱くなった場合は付け加えてください。

手を洗う



手を洗って汚れを落とし乾燥させて下さい。(省略可)

肌ガードを一滴出す



1回約0.6mL(アーモンドの半分位の大きさ)が目安です。(上記はMSE-HG80の使用シーンです)

手全体にすり込む



掌、甲、腕、肘まで全体にすり込めば万全です。

3~5分後、保護膜が形成



3~5分後に皮膚に保護膜が形成されて保護作用が現れます。

【ご使用上の注意】■傷・はれもの・湿疹等のある場合は使用しないでください。■お肌に異常が生じていないか、よく注意してご使用ください。お肌に合わないときや次のような場合には、使用を中止してください。そのまま使用を続けると悪化することがありますので、皮膚専門医に相談されることをお勧めします。①使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常が現れた場合②お肌に直射日光があたって上記のような症状が現れた場合■目に入った時は、直ちに洗い流してください。■乳幼児の手の届かないところに保管してください。■極端に高温または低温の場所、直射日光が当たる場所には保管しないでください。

- 肌ガードを塗った手を石鹸や消毒液で洗うと、保護成分以外は洗い流されることがありますが、保護成分は残りますので皮膚を保護し続けます。
- お仕事や肌の状態により、3~4時間ごとに「肌ガード」を塗りなおしてください。効果が弱くなったと感じた時は、経過時間を気にせず塗りなおすとより効果的です。

■よくある質問ご質問

Q1. ハンドクリーム、ハンドローションとの大きな違いは？

A. 作業前に塗り、皮膚をコーティングするのが皮膚保護クリームで予防措置的な製品です。作業の後から水仕事で失われた皮脂や水分を保湿成分で補うのがハンドクリーム類です。

Q2. ハンドクリームとの併用は効果的ですか？塗る順番は？

A. 保湿性を高める意味で効果はあります。先にハンドクリームを塗り、それから肌ガードを塗ってください。ハンドクリームの保湿成分を肌ガードの保護膜成分が角質に閉じ込め、落ちにくくします。※但し、肌ガードにも保湿成分や抗炎症成分が含まれております。またべたつきが増加する場合がありますのでご注意ください。

■製品仕様

■生産国：日本

■成分：水、セタノール、ステアリン酸、アモジメチコン、ミスチン酸イソプロピル、グリセリン、ミスチン酸、ポリマーフルオロメチルイソプロピルエーテル、PVP、ヘニルアルコール、TEA、酢酸トコフェロール、グリチルレチン酸ステアリル、(PCA/イソステアリン酸)グリセレス-25、ミスチン酸ポリグリセリル-10、トリデセス-4カルボン酸Na、フェノキシエタノール、ブチルカルバミン酸ヨウ化プロピニル

■型番/JANコード



■製品HP



<販売名>

肌ガード

<発売元>

MSネット株式会社

〒351-0012 埼玉県朝霞市栄 4-1-16

TEL: 050-3733-1375

<製造販売元>

株式会社ニューヘアー化粧品本舗

東京都千代田区神田東松下町11番地

<お問い合わせ先>

MSネット お客様窓口 050-3733-1373

受付時間：月曜日～金曜日

10時～12時 / 13時～17時

(祝祭日、休業日、夏季休暇、年末年始除く)

●ElutおよびElutロゴマークはMSネット株式会社の登録商標です。●製品仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。●価格は全てオープン価格です。